

第7回

# 元気スイッチon!! あつまれ！あいちのじどうかん ～今と向き合い、明日を切り拓く！～

みなさんの児童館や児童クラブで、子どもたちは日々どう過ごしていますか。  
楽しそうに遊んでいたり、友だちとケンカしたり、ちょっと気になるような様子だったり…。  
一見何も問題なく楽しそうにしていたとしても、今の子どもを取りまく社会的課題は、少子化、虐待、貧困、  
いじめ、メディアリテラシーなど数多くあり、子どもの育ちにも様々な影響を与えています。  
これらの課題は私たちが一人で解決できるものばかりではありません。  
だからこそ、支援者としてこれらの課題に向き合いながら、できることやるべきことを議論し、解決の糸口  
を探しましょう。  
児童館・児童クラブで活動しているみなさん、子どもの育ちに関わるみなさん、ぜひご参加ください。

## タイムスケジュール

10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
9:45	15 30		45		15			15 45
開会式	基調講演				分科会		閉会式	謎解き 交流会 (19:30終了)
			お昼休憩 13:00 分科会受付開始-----●					
			あそびば					

## 開会式

[9:45-10:15]

## 基調講演

[10:15-11:45]

### 『虐待と児童館と私』

子育て家庭と児童を見守り、つないでいく役目が児童福祉施設としての児童館には求められています。世代を超えた年齢や様々な立場で、色々な関わり方ができる場所としての児童館が持つ役割を意識し、予防も含めて、虐待を世代間連鎖させないよう、どうしていくべきか。虐待は発見して終わりではありません。「この町から不幸な子どもはつくらない・つくらせない」を合言葉に取り組まれた、中標津町での実践を通して、児童館の在り方を考えていきましょう。



講師 高松 絵里子さん 北海道 中標津町役場 子育て支援室 室長

短期大学を卒業後、地元である中標津町役場に奉職。平成12年に配属された町民生活部福祉課で対応した虐待ケースから、子どもが素の表情をみせる居場所である「児童館」に着目。平成14年、教育委員会から児童館を福祉課に移管し、児童館を拠点とした子育て支援体制の構築に奔走。平成21年、虐待対応や、たがやし隊や赤ちゃんボランティアなど児童館活動を地域に発信する事業を児童厚生員と取組んだ過程を通して、児童館の果たすべき役割を描いた文章が「かずのう賞」を受賞。これから児童館のあり方として、注目される。平成27年、中高校生建設プロジェクトチームを結成し、中標津町児童館の核となる赤ちゃんから中高校生までの大型児童センターを建設。現在、児童健全育成指導士並びに厚生労働省社会保障審議会専門委員としても活動中。

## 分科会

### 第1分科会

テーマ：乳幼児期にとっての児童館の役割  
乳幼児期の親子にとって魅力のある児童館とは～子どもも楽しい・親も楽しい～

アドバイザー 山田 尚美さん 常滑市 子育て総合支援センター 所長  
「子どもやお母さんたちは楽しんでいるのかな」「安心して来館できる場所なのかな」「放課後児童クラブの子ばかりで小さい子少ないな…」  
乳幼児期の子どもたち・保護者にとってどんな児童館でありたいのか、そのために私たちには何ができるのか。いろいろな市町村の方々やアドバイザーの方と話をしながら探してみませんか？子どもも親も「児童館に行きたい！」と思える児童館を皆さんで考えましょう。



### 第2分科会

テーマ：子どもとメディア  
スマホ・携帯ゲーム機はアリ？ナシ？

みなさんの児童館では「スマホ」「携帯ゲーム機」は禁止されていますか？現代の生活で欠かせなくなってきたデジタル文化。それにともない、ネット依存やLINEいじめなど様々な危険性が子どもたちに忍び寄っているのも事実です。児童館で利用禁止にしても、日常生活の中では切っても切れないデジタルな世界。子どもたちの近くにいられるわたしたちに、いまできることはなないのでしょうか？



### 第3分科会

テーマ：様々な問題を抱える親の背景  
親を受け止めて～児童館にできること～

アドバイザー 杉浦 浩代さん 臨床心理士  
児童館には様々な利用者が訪れます。乳幼児の親子、自由来館、放課後児童クラブの子どもと迎えに来る保護者など。  
その中で、親への対応に困ったことはありませんか？  
子どもの関わり方がわからない親や、子どもに关心の薄い親など。それは親自身が何らかの背景により困っているからなのかもしれません。  
この分科会ではそのような親に対する理解を深め、児童館職員として親とよりよい関係を築くための対応や、支援の仕方をみなさんで考えていきましょう。



### 第4分科会

テーマ：子どものコミュニケーション能力  
なぜわかってくれないの？～思いを伝えられない子どもたち～

アドバイザー 後藤 かおりさん 臨床心理士  
「友達と遊びたいけれど、それをうまく伝えられない」「言葉よりも先に手が出てしまう」「自分の思いだけを主張する」など、みなさんの周りに友達と思いを伝え合うことを苦手としている子はいませんか？  
この分科会では、そんな小学生について支援者同士で意見交換、グループワークを行なう、実際にあった事例についてみんなで対応の仕方を考えていきましょう。



## 閉会式

[16:15-16:45]

## 出前じどうかん ～あそびば～

[10:30-15:00]

児童館・児童クラブでイチオシの工作やゲームなどを体験できる、遊びの情報交流の場です。来場者が参加できるパフォーマンスもあります。  
あそびばで様々な「イチオシ」を体験して、新たな発見や笑顔を共有しましょう。  
そして、私たちだからできる魅力や感動を発信してさらに児童館を盛り上げていきましょう。  
愛知県各地にある児童館や児童クラブを紹介するアピールカードもぜひ見に来てください。



### 参加団体

- 岩倉市児童館
- 新城市児童館たんぽぽ・設楽町子どもセンター
- 豊山村児童館
- 蒲郡市7児童館
- 飛島村児童館
- 東海市3児童館
- 幸田町児童館
- 豊明市全児童館
- 清須市児童館
- 田原児童センター
- 阿久比町立卯ノ山児童館
- 北名古屋市児童館・児童クラブ
- 名古屋市児童館
- サークルA
- 愛知県児童総合センター

